

動物愛護テーマ 優秀作品を表彰

松山で市民の集い

人と動物が共生できる社会づくりを目指す「第3回動物愛護推進市民の集い」が29日、松山市のホテルであり、動物の命などをテーマに小学生から募集した絵画と作文の優秀作品を表彰した。

2011年に県と動物愛護推進連携協定を結んだ愛媛銀行（松山市）が主催。松山市と砥部町の児童から絵画357点、作文120点の応募があった。

表彰式には関係者ら約250人が出席。作文を審査した県動物愛護センターの岩崎靖所長が「情景が頭の中で

浮かび、胸が熱くなる作品が多かった」と講評した。

作文の部特選に選ば

れたみどり小5年の関谷彩音さん(10)と石井東小6年の明比かさねさん(12)がそれぞれ受賞作を朗読し、人も動物も命の重さに違いはないことを訴えた。

県立とべ動物園の渡

辺清一園長による「私の獣医師人生」と題した講演もあった。

(河端涉)

ほかの上位入賞者は次の皆さん。

【絵画の部特選】遠藤舞子(番町1年)白方統子(愛媛大付属2年)刺田昂太(麻生3年) 吉村優那(味酒4年)【学校賞】番町、味酒、清水、雄郡、桑原、砥部、宮内



動物の命などをテーマにした絵画や作文で入賞し、表彰される児童